

「検査員エリを正そうキャンペーン」と畜場衛生対策への取り組み

四日市市保健所食品衛生検査所

林 有紀 \* 東山陽子

近藤 心 氏家隆久

\* 三重県北勢家畜保健衛生所

## はじめに

消費者に安全・安心で衛生的な食肉を提供するため、と畜場における衛生対策を向上させることは重要となる。当検査所ではと畜場の衛生管理指標の一つとして枝肉の一般生菌数の検査を実施している。この衛生対策に加え、平成 20 年度から「検査員エリを正そうキャンペーン」を実施した。結果、と畜検査員（以下、検査員）や作業従事者の衛生意識の向上がみられ、牛・豚の枝肉の拭き取り検査においても良好な成績が得られたので報告する。

## 材料及び方法

検査員エリを正そうキャンペーン

### （１） 検査員研修会の実施状況

検査員のエリを正して衛生意識を向上すること、作業従事者に対する衛生意識の向上をさせることを目的としてキャンペーンを実施した。検査員の衛生意識を向上させるため、検査員の研修会を年 4 回実施した。研修会では職員の気づきを重視し、対話形式で改善点の意見を出し合い、その取り組みの結果を踏まえて作業従事者の衛生意識を向上させるための衛生講習会を実施した。

### （２） ATP 拭き取り検査

平成 20 年度に導入した ATP テスター（キッコーマン製）を用いた ATP 拭き取り検査を行った。ATP 拭き取り検査では検査員の検査用ナイフとナイフケースの内側を抜き打ちで拭き取り、汚れの程度を調べた。また、ナイフケースの洗浄試験を実施し、ブラシ、ブラシ+台所用洗剤、ブラシ+台所用洗剤+スポンジの 3 検査区によりナイフケースの効果的な洗浄方法を検討した。

### （３） 枝肉拭き取り検査

検査員や作業従事者の衛生意識が向上した指標として枝肉拭き取り検査の成績を用いた。拭き取り検査方法については、厚生労働省通知「枝肉の微生物等検査実施要領」に準じて行った。

枝肉拭き取り検査は月に 1 回（ただし 5 月、6 月、9 月、10 月は 2 回実施）の頻度で牛、豚各 5 検体、年間各 80 検体について枝肉の胸部、肛門周囲部の拭き取り検査を行い、一般細菌数を算出した。

## 成 績

### 検査員エリを正そうキャンペーン

#### ( 1 ) 検査員研修会の実施状況

検査員研修会では検査員や作業従事者が衛生意識を向上させるための方策を議論した。と畜現場において清潔な白衣、長靴、器具を用いることを再徹底すること、施設の衛生維持のため清掃をきちんと行い、清浄区・汚染区を意識した行動を行うこととした。具体的衛生対策として 長期使用で汚れた器具の改善、 乾燥させるため長靴保管場所の扉撤去による改善、 豚コンベアの清掃をホースからジェット洗浄に切り替え、 豚枝肉検査・牛赤物内臓検査の手動スイッチをフット式ペダルに切り替え、 牛白物検査台コンベアを布製からビニール製に変更した。清浄区・汚染区を意識させること、枝肉を汚染させないために検査員や作業従事者が清浄区から汚染区に、一方行に流れる行動を取れるように意識付けした。

#### ( 2 ) ATP 拭き取り検査成績

ATP テスターは目に見えない汚れを数値化する機器で、一般的に RLU 値 2,501 を上回ると食品が直接触れる表面としては不適切な洗浄度と判断される。今回の試験で実施した検査員の検査用ナイフは RLU 値 18~204 と低値であった。一方ナイフケース内側は RLU 値 2,178~268,546 と高値であった。ナイフケースの洗浄試験ではブラシ+台所用洗剤+スポンジ (RLU 値 884~8,744)、ブラシ+台所用洗剤 (RLU 値 1,070~2,793)、ブラシ (RLU 値 214~2,070) の検査区の順で効果的に洗浄がなされた。

#### ( 3 ) 枝肉拭き取り検査成績

平成 18 年度から平成 20 年度の拭き取り検査成績をまとめ、当と畜場の全国における位置づけを示した (表 1)。全国との比較には厚生労働省からの通知による春期 (4~6 月) と秋期 (9、10 月) のと畜場における枝肉の微生物汚染実態調査等結果を用いた。拭き取り検査成績速報を検査実施ごとに速やかに現場衛生担当者や作業従事者に知らせた。目標値を設定し、その達成状況と結果を記載し、評価の判定を × で表記し、キャラクターを用いてその表情変化で検査成績を明確にした。また、作業従事者や検査員に対して衛生意識のより向上をめざすため現場ヘルメットに貼る啓発用マスコットシールを作成した。及び、情報提供インターネット上で当検査所ホームページを整備し、拭き取り検査成績等の情報を提供した。

表1 当と畜場の全国における位置づけ

畜種	検査部位	全国で上位に占める割合（全国順位）		
		18年度	19年度	20年度
豚	胸部	23% (36位内)	18% (28位内)	16% (25位内)
	肛門周囲部	25% (39位内)	16% (25位内)	14% (22位内)
牛	胸部	41% (60位内)	28% (40位内)	24% (34位内)
	肛門周囲部	36% (53位内)	31% (44位内)	20% (28位内)

全国のと畜場数：豚156ヶ所、牛142ヶ所

## 考 察

検査員研修会は「検査員エリを正そうキャンペーン」の方向性を協議する重要な場となった。職員一人一人が日ごろより感じている衛生意識を向上させるための気づきのポイントを引き出すことができた。その成果としてと畜場における清潔な白衣、長靴、器具を用いる意識付け、器具の現場保管方法の変更等のポイントが示され、改善がなされた。豚コンベアでのジェット洗浄への切り替えによる清掃方法の改良や作業者の清浄区・汚染区を意識付けはと畜場における衛生対策の向上に繋がった。

ATP 拭き取り検査では抜き打ちで検査員の使用器具の汚染度を測定する方法を採用し、日常の適切な清掃の必要性を職員それぞれが認識することができた。ナイフケースの洗浄試験において有効な洗浄方法であったブラシ＋台所用洗剤＋スポンジの洗浄法を採用することにより、ナイフに対する汚れが減少した。今後、検査員や作業従事者の衛生意識の更なる向上のため、ATP 拭き取り検査を活用した施設・器具の衛生状態の確認や作業従事者の衛生指導を継続することが必要と考えた。

また、「検査員エリを正そうキャンペーン」の評価の指標と位置付けた枝肉拭き取り検査では年度が増すごとに当と畜場の拭き取り検査成績における全国順位が上昇し、良好な成績が認められた。拭き取り検査成績速報を検査実施ごとにリアルタイムに作業従事者に知らせ、キャラクターの顔の表情で衛生管理の目標値の達成状況が一目で判断できるようにしたことは自発的な衛生意識を向上させることに繋がったと考えられる。また、現場ヘルメットに貼った啓発用マスコットシールは施設の衛生対策の話が話題に上るほど作業者の意識を向上させた。また、インターネットにより拭き取り検査成績を一般公開することにより検査員の衛生意識が一層向上した。職員それぞれが「検査員エリを正そうキャンペーン」を総合的に実施した結果、より安全安心で衛生的な食肉を提供することができるように向上した。